

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	002 -	事業名	公共交通事業			担当部課	市長公室経営企画課		
基本情報	第5次総合計画・基本方針	✓ リニモでにぎわい交流するまち	会計 区分	一般会計					
	まちづくり行程表・フラッグ	—		予算区分(款 - 項 - 目)					
	第6次総合計画・基本目標	✓ あえて歩いてみたくなるまち	2-1-5 企画費						
	法定受託事務の有無	—							
	その他(関係計画、要綱等)	✓	「道路運送法」、「公共交通の活性化及び再生に関する法律」、「第2次長久手市地域公共交通網形成計画」						
事業開始の背景、経緯等	平成17年3月にリニモが開業し、東西に公共交通の基盤軸が形成された。 リニモ、名鉄バス及びN-バスが一体となった利便性の高い公共交通サービスの提供が求められている。								
事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 地域公共交通の活性化を図り、地域にふさわしい公共交通を作り上げていくため、住民、交通事業者、行政など関係者みんなが集う「長久手市地域公共交通会議」を開催する。							
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 公共交通利用者及び公共交通事業者							
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 過度に自動車に頼る状態から、多様な交通手段を利用する暮らしへの転換を促すため、公共交通の利用を促進し、また、持続可能な交通体系を維持する。							
	事業を構成する事務事業(B票)	① 地域公共交通会議事業	改善・見直し	④					
	②			⑤					
	③			⑥					
コスト推移	項目	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)	
	事業費(A)	千円	予算	915,204	421,191	4,956	5,508	4,155	
			決算	915,012	420,686	4,849	5,055		
	人件費(B)	千円	決算	6,493	8,020	9,263	10,333		
総コスト(A)+(B)	千円	決算	921,505	428,706	14,112	15,388			
成果推移	成果指標	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)	
	A 市内公共交通の利用者数	人/日	目標	11,690	12,140	13,466	15,120	※5,269,000	
			実績	12,140	13,466	15,120	15,124		
	B		目標						
			実績						
C		目標							
		実績							
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)									
A リニモ、名鉄バス、N-バス各交通機関の乗客数の対前年比増加									
※平成31年度の目標値については、第2次長久手市地域公共交通網形成計画の目標値と整合を図るため、1日あたりの利用者数から年間の利用者数に変更したため、目標値が大幅に増加している。									
環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 他の市町においても、公共交通に関する協議会等を設け、公共交通の利用促進及び利用者の利便性向上に向けた取り組みを行っている。							
	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 公共交通利用者は増加傾向で推移しており、目標である「対前年度比増加」を達成している。							
評価	過去5年間の振り返り	(過去5年間の事業の進捗状況、改善状況などの振り返り) ・本市では交通とまちづくりが一体となった外出しやすい環境整備の一環として、リニモを中心としたまちづくりを関係者と連携して進めると共に、長久手市地域公共交通網形成計画を推進してきたことにより、市内公共交通利用者は大きく増加した。							
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 本市は2035年まで人口増加が見込まれるとともに、大規模な集客施設が建設されたことにより交通量が増加しており、渋滞の原因となる自動車移動からの転換を図る必要がある。							
今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 昨年度策定した、「第2次長久手市地域公共交通網形成計画」で掲げる目標の達成を目指す。							
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 第2次長久手市地域公共交通網形成計画で掲げた将来像の実現に向け、利用者のニーズを把握し、利便性の高い公共交通サービスを提供するために、行政だけでなく、市民、交通事業者が一体となり、みんなで公共交通を育むことによって、地域にふさわしい公共交通を作りあげていく。							

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	・令和元年度からは、第6次長久手市総合計画の基本構想・基本計画を踏まえて、事業を進めてください。 ・料金体系の見直しや、新たな公共交通(N-タク)施策の実施に伴うN-バスの見直しなど、本市の公共交通施策体系全体で、適正な受益者負担を求めつつ、一般財源の抑制が図れるよう検討してください。
------	-------------------------	--

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

事業(A票)名	公共交通事業		担当部課	市長公室経営企画課	決算書ページ	—
事務事業名	①	地域公共交通会議事業	予算区分	2-1-5 企画費		
事務事業の期間	事務事業開始年度	平成20年度	終了(予定)年度	—		

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 対象：市内公共交通利用者及び交通事業者 手段：市民、交通事業者、行政など関係者みんなが集う「長久手市地域公共交通会議」を開催する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) リニモ、名鉄バス、N-バス、タクシーが一体となった利便性の高い交通ネットワークを構築する

2. コスト推移

項目	単位	区分	27年度(2015)	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)
事業費	千円	予算	3,579	3,566	4,956	5,508	4,155
		決算	3,387	3,186	4,849	5,055	
<備考：事業費の主な内訳(30年度(2018))>							
(1)		地域公共交通会議負担金				4,781	千円
(2)		報償費				256	千円
(3)		食糧費				9	千円

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	27年度(2015)	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)
網形成計画(第2次総合連携計画)計画事業の実施事業件数	事業	見込	11	11	11	10	10
		実績	10	9	11	10	
<備考：活動の概要(30年度(2018))>							
<ul style="list-style-type: none"> 公共交通会議(5回) 公共交通意見交換会(6回) 第2次長久手市地域公共交通網形成計画策定 							

4. 事務事業を取り巻く環境変化

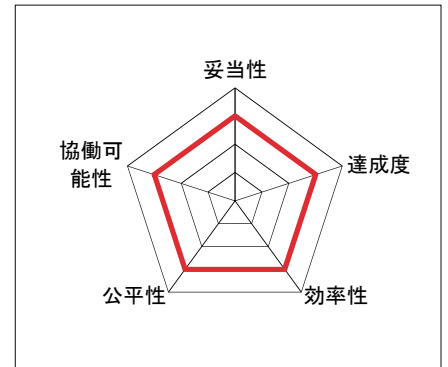
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 平成28年12月にイオンモール長久手店が、平成29年10月にイケア長久手店が開店し、また、愛地球博記念公園内に「ジブリパーク」の開業が予定されており、公共交通の重要度は年々増している。
--

5. 前年度からの改善状況

(1) 財政状況
(前年度【予算額】) (今年度【予算額】) (増減額)
5,508 千円 4,155 千円 Δ 1,353 千円
(2) 前年度の評価状況《参考》
・前年度【今後の方向性】 現状維持
・前年度【コメント】
昨年度に引き続き、長久手市公共交通網形成計画の計画事業をすべて実施もしくは継続することができた。今年度においても、長久手市地域公共交通網形成計画で掲げる将来像をめざし、計画事業を実施・継続していくとともに、第2次長久手市公共交通網形成計画策定にあたっては、平成29年度に実施した公共交通利用実態調査を基に、小学校区別ワークショップ等を開催し、より多くの市民の意見を聞きながら策定する。
(3) 改善状況
(何をどのような状態に改善したのか) 市内公共交通を一体で考え、利便性の高い公共交通サービスの提供していくための計画「第2次長久手市公共交通網形成計画」の策定にあたり、市内各小学校区で「公共交通意見交換会」を実施し、出た意見を計画に反映した。

6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	3
公平性	3
協働可能性	3



【協働可能性について】

(1) 市民参加の延べ人数(人)				
区分	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)
見込	23	100	100	100
実績	23	120	42	
(2) 協働の状況(30年度(2018))				
(協働で取り組んだこと、評価できない理由など)				
市民有志による「公共交通応援隊キッズイベントグループ」主催の公共交通交流会を実施した。				

【活動エピソード】

(活動のエピソード、コメント、特記事項など)
<ul style="list-style-type: none"> 長久手市公共交通網形成計画の推進にあたっては、全ての計画事業を実施もしくは継続することができた。 公共交通交流会については、学童祭りと開催日が重複したことにより、前年度と比較すると1/3程度まで参加者が低下した。

【改善ポイント】

(改善が必要なこと、改善の方法など)
平成30年度に策定した「第2次長久手市地域公共交通網形成計画」の推進に向け、市民、交通事業者、行政が協働し、公共交通の確保・維持していくと共に、自動車移動からの転換を図るための公共交通利用促進活動を継続して行っていく。

7. 今後の方向性

改善・見直し